京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●韓國氣象概況（四月中に於ける）

▲氣壓● 平均氣壓は京城及仁川の七百六十粍九と城津の七百五十八粍三との間にあり前月に比すれば著差耗乃至七粍間の過低にして北西部は他地方よりも過低の度大なり

▲氣溫● 平均氣溫は大邱の十二度九より城津の六度六との間にあり前月に比すれば著しく上昇し乃ち六度乃至九度餘の増加を呈するに至れり最高極は二十五日大邱に於て二十六度九に達し之に亞ぐは元山の二十六度六（同日）にして同日は概ね各地に同月中の最高を呈したり又最低極の氷點下に降りしは京城以北にして城津に於ける氷點下二度五（十一日）最も低く之に亞ぐは平壤の二度四（十六日）なり而して較差の最も大なりしは元山にして二十七度四なりき

▲降水量● 釜山は最も多くして百五十三粍之に次ぐは大邱の百三十二粍九なり中部以南は粍以上なれども北部は少なく就中龍岩浦の五十八粍二を以て最も少なしとす前月に比すれば北部に四十粍三南地方に約百粍の過多なりき

▲蒸發量● 最も多きは仁川の百五十四粍七にして京城は之に次ぎ百四十八粍一なり最も少なきは龍岩浦の九十八粍五にして前月に比すれば著しく増加し殊に黄海に面せる地方にては四十粍乃至五十粍以上の過多なりき

▲風● 概ね北乃至西の風最多を占め平均速度は木浦の九米一を最强とし大邱の二米七を最も弱しとす本月中に於ける最大速度は仁川に於ける二十六米九（十四日）にして之に次ぐは木浦に於ける二十五米七（六日）なり暴風日數は仁川、木浦に各二十日あり内陸は沿海地に比すれば遙に少なく概ね五日以内に屬し大邱の二日最も少なし既往に比すれば元山のみ五日の過少なれども他は皆過多にして木浦の八日仁川及龍岩浦には孰れも七日の過多なりし

▲天氣● 降水日數は元山の十四日を最も多しとし他は孰れも十日以内にありて仁川の六日最も少なし前月に比すれば南岸は同樣にして其他に於ては七日以内の過多なりし快晴日數は龍岩浦の十日最も多く平壤は僅に二日なり前月に比すれば南部六日以内の過多なりしも中部より北部に渉りて二日乃至七日の過少なり是等を更に既往に比すれば降水日數は中部及以南に三日以内の過少なれども北部にては三日以上の過多にして元山の六日最も多し快晴日數は南岸及北西部に三日以内の過多にして其他は同樣の過少なり又雪天は北部に於ても本月を以て終を告ぐるを以て元山三日城津に三日ありしのみ

俳句

木下闇 錦子

灯の見ゆる木の下闇や……
山王寺木の下闇や奥の院
鬱として木の下闇や物憂げき
坂たどる木の下闇や十五丁
遷宮や木の下闇に郷社

鴨足草

城跡の石崩れけり鴨足草
小鄕の奇しき岩間や鴨足草
濺りたる五尺の瀧や鴨足草
底石に苔のむすなり鴨足草
井戸端に白う這ひけり鴨足草

佐倉宗吾（八十二）

眞龍齋貞水講演

源「イエもう、彼樣な野郎などには、擲ら取つても宜しうございます、百姓の脊汗を絞つたので、是程榮華をしてゐるんでございます」五「然う／＼、それは承知してゐる已ッ逢も快い心持だ」三「もう一度ふん込んで來れば宜い」何人か其樣なに踏込んで來るものでありませぬ、此方は宗吾郎、降り來る雪を冒して參りますと、既う一寸程も積つてゐる、安治寄から爰までは夫れ程の道でないが、若しや村の人が居やしないか知らぬと、此方彼方へ氣を配り、一生懸命になつて行つて來ると、圓野の渡へ掛つて參りました、頓て渡まで近づいて渡守の居ります小屋がございまする、其小屋の容子を見ると、中で火を焚くか、煙がプウーッと揚つて、折々にチラッ、チラッと火が見ゐる、若しや此内に六人の名主が立歸るのを待受け、引捕へて城中に引立て、褒美の金にでも有り付かうと云ふ、目明共が忍んでゐても居つては今宵これまで、圓珠院樣の情けで忍んで來ても、アングリやられては一大事と、拔足差足すつと雪を踏んで小屋の中を覗いて見ると、火を焚いて居りますのは、渡守の甚兵衛親爺、この甚兵衛目下は獨身者、自家へ歸つた所が、火の氣はなし、どうせ寒いから此家へ泊らうと、焚火をしながら、頻りに居ろ向になつて背を温めてゐる容子であります、其活氣が屋根へ漏れますから、自然と雪が融け、バタリ／＼、雨滴が落ちる、周圍に人影はない容子、この親爺なれば大丈夫、三年前に死なねば成らぬ所を、此宗吾が助けてやつた者だから此者なら安心と 宗「申し、船は出ませぬかへ」甚「イヤ氣の毒だが、船はもう出さねゑ、何方から向岸へ往かつしやるのなら、犬方公津邊へ往かつしやるんだらう、言傳で宜けりや、私が聞てあげる、もう船は出しませぬ」宗「然うでもあらうが、出して貰ひたい」甚「だめでがす、マア寒いから此小屋へ入つて温まつて往かつしやい、此處は往來の人が通る譯でねゑから何れ甚兵衛七地の人だらう、言傳で宜けりや、明日の朝、私がしてやる、尤も往來の人も通らぬ事もない、武田山へ參詣の者が、ヒヨッとすると此處へ掛る事もあるがそれも彌々内に一遍か二遍だ、もう今夜は渡す譯にいかねゑ、言ひ置いて宜いなら言ひ置いて往かつしやい」バチーリッ、ポーッと燃えてゐる 宗「コレ甚兵衛……甚兵衛ッ」甚「何人だね、俺の事を、甚兵衛甚兵衛と呼ばつしやるのは、俺を甚兵衛と呼ばつしやるなア、俺の村の名主どんか、左もなけりや佛像寺の旦那樣か、其他にも公津の上岩橋村の甚庄屋と謂はつしやられる宗吾さんの外に、俺の事を甚兵衛と呼ばしやる者はねゑ、向岸へ船を渡しや御客樣だが、渡しせねばなけりや、御客樣でも何でもねゑ、……まらねゑ、渡守の甚兵衛も、五分と五分だ、私の事を甚兵衛／＼と……一休れ前は何人でねゑ」宗「コレッ、甚兵衛、私だ」甚「エッ、公津の旦那」甚「樣ぢやアがせんか」宗「如何にも宗吾ぢや」甚「マア、何うし此處へ御來になりました、サア此方へ御入んなさい、……いますから金く此の通り焚木を燃して居ります」宗「アー、コレッ……」外へ飛で來て 甚「旦那樣」圓邊の容子を展覽し 宗「甚兵衛」甚「久振りでございます、貴下御無事でございましたか、マア、此處へ御來を御願けなさい、御存知の通り私は獨身者でございますから、火の氣のねゑ自家へ戾つた所が、仕樣がねゑから、晝の中に買つて置きました酒を、焚火で温ため、之を飲んで暖たまらうと行つて居ります所へ、圖らず旦那樣の御戾りでございました、長い事、江戸へ往つて居つらしやるから、六人の庄屋衆が立歸るのを待つて、縛り上げやうと、今も今とて見廻りの役人が、此處へ廻りましたのでございます能くマア貴下途中で役人に御出會なさらないでした、

京城新報

廉潔公明人

統監後任者は果して誰乎

韓半島五百年來の腐敗衰頽の因由を尋ぬれば執政者の廉潔公明ならざるに歸す、山岳禿し、河川涸れ、地積荒廢し、民人の遊惰に流るゝも總て是れ執政者の廉潔公明を缺きたるの結果也と云ふも不可なからむ。執政者にして公明廉潔を欠くに於ては請託賄賂は横行し、一部の小數者を利する爲に多數の人民を犠牲に供す、是れ古今を通じて不變不公明の執政者によりて爲さるゝ所の弊なりとす、最大多數の最大幸福は廉潔公明なる政治家に非ずば到底望み得可らざる也、半島の病根既に玆にあり、保護政治の任に當るものは須く思を之に致さゞる可らず。

韓國政治の改良と云ひ、民族の發展指導と云ひ、要するに先づ思を玆に向て廉潔公明を教ゆると共に躬行實践して導かざるべからず、伊藤統監は政策の可否は暫らく措て此点より観察すれば日本の政治家中に於ては世界の政治家中にも稀に見る所の公明廉潔なる政治家也、若し夫れ過去三年有半に亘れる伊藤統監の事績を數へ來るとせば其の韓人に對して廉潔公明を教へ且つ是を實行して見せしめたる事也、是れ惟に統監政治の今日迄の光也。

彼の目賀田前顧問の如きも此点に於ては効績の著しきものあり、彼の廉潔公明なる行動は韓人の頭腦に深き印象を與へたり。伊藤統監と云ひ、目賀田前顧問と云ひ、半島政治に貢献したるの勞を謝せざる可らざる也。

[illegible]

人物は誰なりや、余輩は政府が如何に之を選擇するかを想像す。[illegible]

東京電報

▲曾禰子の昇任 諸元老會議の結果愈々伊藤統監辭任し曾禰副統監を統監に昇任せしむる事に決定したりと云ふ（十六日午前發）

▲駐韓軍の行賞 駐韓軍の行賞は勅令により六月十日頃裁可を見るべし

▲統監府と官制 曾禰副統監の昇任と共に統監府官制に大改正を加へ副統監、總務長官を廢し參與官長を置き其人撰は統監に一任すべし（十六日發）

▲昇任と實權 曾禰子統監に昇任するも韓國當時の事狀は桂首相等の會議に[illegible]能はざる現狀なれば[illegible]方針を指示して曾禰子[illegible]（十七日午後發）

とする[illegible]從ひ叛亂絶ゆる時なく同國の統治徒に困難を加へしあるは疑ひ無き事實なり統監既に辭意あり、せば速かに適任者を舉げて之に代らしめ韓國統治策を一變せざるべからず然らずんば同國に於ける我保護權の基礎は徒に薄弱たるを免れざるべしと萬朝報は論せり

外報 一束

●ル氏の論評 十三日發刊のアウトルック紙に於てルーズヴェルト氏は民主黨首領ブライアン氏が大統領撰擧運動の綱領中に亞細亞人排斥政策の一條項を挾みたるは民心を煽動する手段にして最も危險なる[illegible]

●南阿合同憲法 南阿弗利加殖民地合同の憲法はブロームフォンタインに於て[illegible]

●同盟罷業失敗 巴里郵便局員の同盟[illegible]

●露國排日案 露國國民議會に於ては[illegible]行政改革を定め且外國人殊に日本人が是等露國領土に於て經濟的利益を占むるに反對する議案第一及び第[illegible]

●日本語の講座 英國オックスフォード[illegible]設せらるべし

●炭礦問題の前途 本溪湖炭礦を調査[illegible]及び技師は大倉組の[illegible]と認めたる旨報告[illegible]兩日中に具体的の提[illegible]と見ざれば錫新總督[illegible]

雜報

●曾禰副統監出發 既報の如く曾禰副統監は佐竹秘書官を隨へ一昨十六日午前[illegible]南大門發歸朝の途に就きたるが當日は[illegible]宮、各大臣、石塚長官[illegible]文武高等官、實業家[illegible]數百名の見送りあり

●韓國保護の實況 [illegible]於ける實狀を紹はん[illegible]

●中央銀行問題 澁澤男異議なし

新たに韓國中央銀行を設立して從來第一銀行の有し來れる銀行券發行の特權を回收して之に附與せんとは昨年來曾禰副統監の主唱に係るところなるが聞くところによれば銀行券特權の返上に就ては例の澁澤男の淡泊なる性質とて直ちに之を快諾すべき模樣にて殘るところは韓政府より第一銀行に向つて特權回收の賠償金を幾許拂ふべきやにあり右に就ては伊藤統監と桂大藏大臣との間に兩三回の相談ありたりとの事なるが尚は今回上京せる曾禰副統監も相談に與かり最後の決定を見ることゝなるべしと云ふ

●日韓瓦斯と民團

我民團理事者の意見にては日韓瓦斯會社が瓦斯管沈設の爲に民團の道路を使用するに就ては相當の使用料を民團に向つて仕拂ふは合法の義務なりと云ふにあり右に付き瓦斯會社側の意見なりと云ふを聞くに同會社の特許は韓國農商工部より與へられたるものにて會社は特許命令に從ひ利益金百分の五を政府へ納付すべきことゝなり居るを以て民團道路の使用料も無論右百分の五中に包含せるものと思惟すと云々

●渡邊子の統監評

伊藤統監辭職説に關し俠禪渡邊國武子は語りて曰く殖民地の經營は元と勇氣潑剌少し遣り過ぎる位の人物に待つを可とす公は既に老いたり元氣は年々に銷沈して今や到底半島の才氣縱横なるを得べきに非ず又韓國の事假りに百歩を讓りて伊藤公に非れば萬事首尾よく進捗せずとするも半島の經營完成は尚ほ假すに數十年を以てせざる可らず而して前途春秋に乏しき公の到底最後まで之に携はり得べきに非るを知らば老いたる統監は今に於て辭し後任を元氣ある有爲の士に託して餘生を風月の間に樂しむの最も可なるを見るべく公の辭職説は日韓兩國の爲にも公自身の爲にも余は其の盡ならざらんことを望むや切なりと云々

●副統監下關發

曾禰副統監は昨十七日午前七時下關上陸後同九時出發せる由

●宇佐川總裁東京着 宇佐川東拓總裁の一行は十七日夜東京に到着したる由にて宇佐川氏は市ヶ谷仲町の自邸に、井上理事は京橋區數寄屋町島屋へ投宿せりと

●吉原副總裁纛島行 吉原東拓副總裁は岩佐、韓兩理事を從へ昨十七日午后纛島園藝模範場を視察した

●露國宗教家の入京 ジャーウオストルゴフアルミフレートル氏は京城聖數會巡視の爲め不日來京すべしとの電報其筋へ達したりと

●松井局長の歸任期 目下東上中の松井警務局長は本月末頃歸任すべしと云ふ

●飢饉救恤と民情 咸南文川郡に於ける飢饉救恤は地方窮民に對し頗る感謝の念を與へたるが同地の有志朴相輔は此程「義金救貧獻賀駐在所」と題し公是仁人大有巧、いいいいいいい、寔出本然衷、百里吾州雨露中と詠ひたるにて見ても地方人民に與へたる感謝の念を度るに足るべしと

●群山地方の調査 東拓會社は左の事項の調査を群山理事廳に依賴し來たるに依り理事廳は之れを會議所に移囑し目下會議所にて調査中なりと

一 貸付に關する事項（貸付方法、擔保物の種類、返金に關する實況、農產物又は獲得物を擔保として貸付くる狀況等）
二 農產物及獲得物の產出並に集散に關する事項
三 運輸機關及金融機關の狀況
四 管内一帶に於て融通せる資金總額並に之れを使用する事業
五 日韓人の商取引狀況
六 現在有望と認むる企業の種類
七 現在及近き將來に於て資金の融通を要望する程度並に其種類
八 產業の發達を助くる爲め金融機關として營むべき事項

●學務主事に訓示 過日來入京したる第二回任命の學務擔任主事小山（漢城府）中石（江原道）菅谷（咸南道）小路（平北道）の四氏に對し澤田内部次官代理は十七日午前十一時より次官室に於て教育普及に就き衛生の注意等訓示する處ありたるが尚兩三日中に俵次官よりも過般開會したる學務主事會議に於てなしたると同一の訓示あるべしといふ尚小山氏を除きたる三氏は今週中夫れ〳〵赴任すべしと

●免許漁業の出願數 漁業法實施以來本月四日迄に觀察府又は理事廳を經由して農商工部に申し出でたる免許漁業出願件數は合計六百十六件に達したり而して其内譯は第一種日本人百三十四件韓人八十三件團体百〇三件第二種日本人八十六件韓人四十七件團体日本人六件第三種日本人五十二件韓人三十三件團体四十二件第四種日本人三十一件韓人三十一件團体二十二件第五種韓人三件なり尚許可漁業の出願件數は七十一件にして既に七十件は處分濟なりと

●新義州及南浦と三税 韓國政府にては酒烟草家屋三税賦課に對し最初鎭南浦および新義州を除外地として内定し置きたるものゝ後更らに模樣變り再び該兩地に賦課することゝなりたるが右につき當局者は同地日本人より徴收したる税金

…政府より民團事務の補助として支給すべしとの條件を附する由なるも同地の在留者は前記の條件に就て政府が一時を糊塗するに過ぎずと云ひ居れりと

●滿洲研究會の創立 岡崎邦輔山口熊野菅原傳小久保喜七原田十衛渡邊勘十郎牧野耕三松田源治齋藤二郎望月小太郎横山寅一郎日向輝武上野安太郎外三十餘名の人々發起となり滿洲研究會なるものを創立することに決せしが目下は代議士も多く歸郷中にて滯京者少數なれば二十六議會開會前代議士多少の上京を待ちて各派の間に交渉をなし正式の發起人會を開きて更に協議決定することに内定したりと

●南浦築港地質調査 鎭南浦築港の地質調査は當初飛澱島附近八ヶ所を選定してボーリング調査を爲し其の調査は豫定の如く近々終了する筈なりしが去る十日其筋より更らに同島附近八ヶ所に對してボーリング調査をなすべき旨南浦築港建築所へ命令ありたりと云ふ

●群山農事組合活動 群山農事組合員百八十八名は今回各自經營農場の治水工事を起さんと已に大畧の協議纏まりし由なるが其費用は百萬圓餘にして萬頃江の流域を利用するの由なり而して此治水工事により得べき水田實に五千町歩餘にして其資金は東洋拓殖に仰ぐべきか度支部に仰ぐべきか目下其講究中なりと云ふ

●大屋長官の園遊會 既報の如く京仁線改修工事竣工を祝する爲め統監府鐵道管理局長官大屋權平氏夫妻の催しに係る園遊會は一昨十六日午後三時より仁川萬石洞に於て開催せられたり來賓は京龍仁の官民約五百餘名會場の設備萬端手ぬかりなく賓客をして始終快感を與へしめたり殊に當日は來賓往復の便を計り臨時列車を運轉せし等至れり盡せりといふべし會場には數ヶ所の模擬店設られたるが殊に喫茶店は高丘に位せしを以て風光佳絶爽快の心を起さしめたり餘興としては二〇加及び手品等あり斯くて一同十二分の歡を盡し散會せしは午後六時頃なりし

●韓字新聞の押收 桑港在留韓人の發行せる新韓民報第百二十八號は治安を妨害するものと認められ十六日付を以て内部大臣より發賣頒布を禁止されたり

●警察官と夏服 警察官は本月二十日より六月十五日迄冬衣夏袴、同十六日より九月十五日迄夏服着用すべしと

●東拓と貸付申込 東洋拓殖會社に對し市街宅地、田畑畫田等を抵當として資金の貸付を申込みたるものは十五日迄に六七十件に達したるが其申込金額は百三十餘万圓に上れる由にて金融部は右申込者中相當なりと認むる者は書類を事業部へ廻附し抵當物の評價を爲さしめ居れる由其中大口の申込は某氏の五十万圓を筆頭として十萬五萬のもの少からず近日中に二三件は貸出方法確定する由なりと因に貸付期間は定款に依れば最長限を十五ヶ年と規定しあるも當分は斯る長期の貸付を爲さず何れも三四年以内とする方針なりと

●日韓人親睦會

既報の如く日韓人大親睦會は十六日景福宮内に擧行せるが前日來の曇天を氣遣ひしに當日は一天晴れ渡り風さへなく殊に日曜日のことゝて定刻前より門前人山を築き午後二時頃には參會者の數實に四千餘名遂に入場劵の發切となり止むを得ず謝絶するに至れり午後一時四十分爆竹の合圖と共に一同式場に參集するや熊谷長民は發起人總代として開會の辭を述べ次に韓人側總代兪吉濬亦開會の辭を朗讀し終るや韓國々歌の吹奏あり後大久保軍司令官は韓國皇帝の萬歳を三唱し次に君が代の吹奏あるを待て李首相は日本天皇陛下の萬歳を三唱す之にて式を終りしが當日は何分混雑のことゝて會長以下役員の選擧は熊谷民長の希望によりて發起人に一任する事とし式全く終るや直に余興及模擬店を開始せり會場の設備としては式場兩側の演舞場二十餘ヶ所の模擬店亦装飾の美を盡し閉會中は軍樂隊の演奏煙火角觝遊技等ありて頗る賑盛なりき日韓人共充分の歡を盡し午後二時頃より隨意退散せり而して韓人側に於ては今回の懇親會は余程滿足せしものゝ如く會場より[illegible]國歌を歌ひつゝ觀光團員李重夏氏の發聲にて日韓兩國の萬歳を三唱して退散せり尚同所にては趙重應、熊谷民長、兪吉濬等も參會せり因に大久保軍司令官には日韓親睦會に金五十圓を寄附せりと云ふ

●久田能島兩氏送別會 既報の如く時事新報特派員久田宗作氏元日本電報通信社京城支局主任能島進氏の送別會は一昨十六日午後六時より花月に於て開催せられたるが多數の出席者あり盛會なりしといふ

●邦人官吏叙勳 石川鐵道管理局技師外統監府書記官理事官十一名に對し韓皇より十日附を以て左の如く叙勳ありたり

特陞叙勳一等賜八卦章 統監府鐵道管理局技師 石川石代
統監府書記官 勳二等 小松緑
農商工部商務局長 勳二等 菊池武
理事廳理事官 勳二等 龜山理平太
鐵道管理局技師 勳二等 岡本桂次郎
特賜太極章 理事廳理事官 勳三等 三増久米吉
同 勳三等 三浦彌五郎
特叙勳二等賜八卦章 鐵道管理局事務官 時尾善三郎
同 營林廠長 同 岡正矣
特叙勳三等賜八卦章 理事官 久水三郎
特叙勳四等賜八卦章 副理事官 深川傳次郎
特叙勳六等賜八卦章 宮内府御者 大川榮一郎

公人私人

▲川上常郎（大邱財務監督局長）局長會議に列席の爲め上京中の處十五日歸任
▲矢橋永三郎（公州同上）同上十六日歸任
▲天野久三郎（平壤同上）同上
▲佐々木隆市（東亞煙草會社京城支配人）十五日三日月
▲福羽子爵（宮内省内苑頭）十五日入京天真樓
▲高橋秀松（藥學博士）十六日入京浦尾
▲田原利（帝國生命保險會社重役）同上

近事片々

▲伊公の辭任と官制改革とは漸くに實現せんとするが如し隨分長い風說にて飽果る
▲三度に一度は斯らずばなるまい宜加減
▲借も實現せざれば半島經營の活氣は逸散せむ
▲官制改革は一寸見ものならむ姑息の改革は何の役にも立たぬ斷切て英斷なれ
▲統監後任者の撰擇には隨分困難なる模樣
▲太郎冠者自身の出馬は今の處無論出來ず
▲寺内は長谷川將軍より事情を聞きて頓と[illegible]
▲[illegible]せずれ鉢は曾禰子に廻ふも伊公推薦乎
▲兎に角曾禰子起用の上は何れかに決定せむ條件附にて曾禰子の昇任説は如何にや
▲祖國に於ける統監政治の惡評は近來殊に甚だしと掩蓋政策も玆に至て効力なき也
▲隱れたるより顯はるゝは一の眞理也之を悟らば勉めて開放政策を取るが却て良全也
▲此處暫らくは統監政治過渡の時代とでも云ふべきか聊か目玉を剥いて見る要あり
▲乍併枝葉の改革のみならば直に元に戻るべし改革するならば根本よりするが肝要
▲伊公の辭任は一方より觀察すれば太郎宰相の勝利と見らるゝ彼の勢力範圍の膨脹也
▲渡邊俠禪統監には進取的の人物を要す伊公は既に精力不足と說く聊か理屈也
▲然り新進有爲の士に非ざれば殖民地經營は頗る難事也思切て新進を撰擇する可也
▲ピットは三十にならずして太宰相となる而も印度政策は彼の手になる所多かりき
▲ル氏アウトルックに武氏の大統領選擧に亞細亞人排斥を綱領としたるを非難せり
▲表面綱領とせざるも御自分も亞人排斥者の一人也而も機關雜誌に公にす
▲ル氏亦トルストイ翁の無政府主義を罵り米國も杜翁の禍害を受る嫌多しとなす
▲無論杜翁の主義は不健全にして國家の構成に害あるも思想界の事は如何とも難し
▲唯だ斯る不健全なる思想家を出さゞる樣に社會組織を改善する必要は慥にある也
▲大朝の韓國通信員として露都に在りし二葉亭病氣歸朝の途中印度沖にて逝去せり
▲露都以來病魔に冒され其絶筆なるを未だ一回も採らざるに病重る惜む可し噫

●高麗朝各陵の修理 京畿[illegible]其數實に四十二[illegible]谷陵とも近來夜陰に[illegible]ざるを以て約一千圓を投じて修理すべしと[illegible]出して祭祀を營むに足るべき堂宇を建立す[illegible]

●出入船舶と乘客 仁川一昨日の入港[illegible]女十二名乘船者男二名女なし而して當日の[illegible]たる由

[illegible]して附三日の内[illegible]

……る高麗朝の各陵は開城附近の山中に散在しせるも之れとて決して完全なりとは云ふを得ず……体を爲……つの土饅頭に過ぎずして到底帝君の陵と思ふこと能はざる程なれば内部は二千圓を支……

●出入船舶と乘降者　仁川一昨日の入港……櫻井、錦江、安來、住ノ江……船は蘭州丸、筑後川丸の二隻にして出港船は蘭州丸一隻なり其の上陸者は男五十三名……

●辯護士懇親會　在京城辯護士は昨十七日午後六時より翠翠樓に於て懇親會を開き……

……財務の情況を視察すべく大邱、群山、木浦地方へ出張の筈なるが往復約一ヶ月の豫定に……

……明日頃銀花瓶を寄贈する……

賣淫婦の大檢擧

▲檢擧されしは十九名

京城に於ける賣淫婦は其數頗る夥多しく而かも彼等は白晝公然客を引き或は深夜に至る迄歌舞音曲を弄する等風紀を害する事甚だしく其筋に於ては捨て置かれずとなし一昨夜南部警察署は非番巡査を召集し桐原署長指揮の下に午前一時より大檢擧に着手せしが同三時迄に檢擧されし者實に左の如し

本町一丁目浪速亭事奈良谷ふゆ方酌婦山口縣阿佐郡大千穂村字有穂藤井まさ子(十八)
旭町一丁目四十番戸山陽亭事水菓子まさ方酌婦神戸市新町四丁目谷口菊枝(三十)
同熊本縣天草郡財津村字篠崎須崎てる(二七)
太平町一丁目鶴龜樓事吉田吉松方酌婦長崎市丸山町二十七番地山田とよ(十九)
同町丸萬亭事佐藤まさ方酌婦熊本縣天草縣財津村小林はつ(二十)
同愛知縣丹羽郡太陽村湯淺たまよ(二十)
同亭仲居大坂府堺市柳の町字大道伊東ふく(二十九)
同町一丁目初音樓相原みつ方酌婦長崎市丸山町字梅木田浦ゆき(三十)
岡山口縣熊毛郡諸住村字東保木曾川ひさ(二十)
西小門通横濱亭事野村つね方酌婦香川縣綾歌郡多津町中石こと(十八)
同神奈川縣三浦郡横須賀町久須ヶ浦百三十二番地芝田ひさ(三十)
太平町二丁目中野カツ方酌婦福岡縣博多市西門町十六番地岸原コマ(三十)
本町一丁目蓬萊屋事土井ミチ方酌婦廣島縣安藝郡吉浦村字西濱木村タカ(三十)
同町君の江事長谷川清一方酌婦香川縣高松市兵庫町岡本トク(二十)
同廣島縣廣島市新市町上田ハナ(二十)
太平町一丁目田舎屋事永松五作方酌婦山口縣玖珂郡柳井津村字今側町守川タマ(二十)
同町二葉亭事高田ミカ方酌婦山口縣豐浦郡豐西中村字宮岡下林ウメ(十八)
北米倉町三丁目銀水亭事園田ミユ方酌婦大坂府泉南郡岸和田村大字本町吉野ヌイ(六十)
太平町一丁目渡邊宇作方酌婦廣島縣呉市東本町青野ヨシ(二十)

以上十九名にして賣淫料は壹圓五十錢以上二圓迄なり前して

賣淫婦は拘留三日宛に抱主は拘留各四日に何れも昨日南部署に於て言渡されたり、猶此の内鶴龜樓方山田トヨを買ひたる本町一丁目七十四番戸洋服仕立屋奥田事方原

喜一(三十)と云ひ又銀水亭方吉野ヌイを買たるは住所不明の黑田兼次郎と云へる亞呆男にして他は悉く不明なり

●強盗三名寺院に押入る　△發砲負傷せしめて逃走

英方へ一昨十六日午前一時頃三名の強盗來り屋内に侵入せんとする物音に住職與が眼を醒まし賊の一人を捕へんとせしに他の一人は短銃を發砲し住職及び小僧に擦過傷を負はせ何物をも取得ず逃走せしが賊は何れも韓服を着け居たりと

●荷物を押ゆ　仁川宮町二丁目成田屋の雇人佐々木三助と云ふは一昨日宮町派出所に訴へて曰く私は以前播磨屋に居たるものなるが此程暇を取り成田屋に移りたるものなるが前の主人播磨屋は利三の荷物を差押ねて返して與れませぬから說諭方を願ひますと訴ねたれば警官は播磨屋に出張取調べたる所三助は無斷にて家出したるものなれば口入屋と談議の上荷物を下げ渡す筈なりと述べたれば警官は双方穩便に計ふ樣說諭して引取りたり

●不潔なる爭ひ　仁川京町二丁目日稼業熊本縣生れ有働爲喜(三十)と云へるは一昨夜同地花開洞蛤甫屋朴客仁方に登樓し三十錢の約束にて紅梅と云ふを買ひたるが約三十分を過ぎたる後一同夢を結すんだイヤまだ結ばぬ杯と馬鹿〳〵しくも紅梅と爭論を始めて果ては樓主朴客仁と口論し遂に警官の出張を煩はしたるが事が事なれば警官は其の不心得を諭し放還したりと

●船頭の亂暴　仁川港碇泊中の團平船乘組員江口組船頭桑柳吉(二十)は一昨日午後五時頃團平船に荷物積込みのことより韓人趙春明(三十)と爭論を始め其の果て毆打し疾病休業一週間の傷を負せたるより警察沙汰となりたるが結局治療代四圓五十五錢を支拂ふことゝして事濟

●韓人の轢死　一昨日午後十時十分仁川發の列車が富平驛と素砂驛との中間にて一名の韓人を轢き殺したるが同人は住所氏名とも詳ならざるも覺悟の轢死らしく見へたり尚は死体は仁川署に於て檢死の上里長に引渡したりと

●消防點檢ご注意　明十九日午前九時より新町に於て消防點檢擧行の筈なるが同日は午前七時頃消防手集會の相圖として警鐘を打つべき由なれば一般人民は火災と誤解せざる樣注意すべしとなり

●富田氏の容態　仁川富田民長の容態は其後何等の變化もなく頗る平穩にして熱度も昨日午前十時には三十七度を示し脈膊亦普通にして今の分にては全快疑ひなしと云ふ

●仲裁して撲らる　本町一丁目浪速樓主人上田外二郎(三十)と云へるは一昨日午後六時頃日韓親睦會の歸途太平町に於て支那人と朝鮮人とが何か口論し居るを認め……せ宜しい醉に乘じて仲に飛入り仲裁を試みんとせしを他の支那人來りて上田の横面を張り倒して逃走せしを追掛くる途中擲ねて……

●開月亭で亂暴　福島縣石川郡淺川村當時京城花園町二十六番地大津政次郎方大工酒井吉平(二十九)と云へるは去る十五日午後十一時頃若草町一丁目開月亭事福田たか方に登樓し大に酩酊して同行せし外一名の男と喧嘩を爲し器物を破壞せるにぞ同亭にては此旨派出所に訴出でしかば警官出張せしに一名は逃走せしも吉平は南部署に引致せられて散々れ目玉を喰つて引下る

●電話交換手募集　京城郵便局にては電話加入者數增加の結果交換手の缺員あり此際十余名を募集し居るを以て年齡十二年以上二十三年以下の女子にして家事に繫累なき者、學力尋常小學第六學年以上を修業したる者又は之と同等以上の學力ある者にして希望者は履歷書を添へ同局電話掛へ至急申出づべしとなり

●空巢覗捕はる　去る九日仁川萬石洞中野谷秀雄方の留守宅に忍び入り雜品數十点(六十余圓)を窃取せしが此奴は朴京順と云へる者にて仁川署韓刑事の爲めに一昨日花村洞に於いて逮捕せらる

●仁川のボヤ　仁川內洞居住李有永方の温突より一昨日午後十一時三十分頃發火し將に大事に至らんとせしも漸やくにして消し止め無事鎭火したり

●美濃德の上訴　仁川の惡漢美濃德松は過日懲役一年に處せられたるが一昨日不服を申立て上訴せり

●公判たより　明十九日法務院に於ける公判左の如し

▲民事(午前十時)一、物品代金請求上訴人秋本茂三郎被上訴人四十方滋太郎二、貸金上訴人尾賀正三郎被上訴人大橋諸三郎

▲刑事(午前十時)一、窃盜砂山林助

●創業紀念割引　上野國桐生町大和屋呉服店に於ては今回創業七周年紀念の祝意を表しウヅラ縮緬春日縮緬敷島縮緬の各種呉兒帶を從來の正價より三千本限り一割引にて發賣し猶ほはがきにて注文せば引換小包にて送品する由なれば需用者は直接產地より取引を得て最も便益なるべし

演藝界

▲歌舞伎座　明十九日より谷川勘蔵、吉川吾丸の浪花節……て開場と極る
▲永樂亭　……圓朝一座の浪花節……
▲壽座　……圓朝の讀物……「殿中松之廊下」……「堀部安兵衛の傳」と後席に……也
▲壽座　田宮一座の新派劇も連日大入なる

▲會社の變りは「七化れ新」にして配役如左　本旧の……袖山畯、署長秋山秀(松村)理學生村田又雄(吉井)三日月權次(大山)自來也德次(篠田)刑事島田正雄(阿部)太鼓持蝶々八、母れ勝(高山)向湯文造、部長加藤升(中村)毒婦れしん(堀江)れ新親重作(田宮)

▲金と命▼

強盗「サア、金だ、それとも生命を貰ひ受けやうか……」

男「生命なら遣るからサッサと持つて行きな金は老後の爲めに貯めてるンだから一文たつて與れるものか」

▲會社の隣りの料理店は安値で甘味い料理五品にビール付き一人前一圓だ料理番の腕が確固して居て女中は愛嬌タップリだ嘘ちやないです(江戶ッ子)▲漢城衞生會とやら云ふ所へ申上げます恐れ入りますが溝渠の掃除を願ひ度いのですが如何なもんでせうか成らはれ聞き届けを願升(人民惣代)▲會頭さんが東上せられたので珍らしい珍らしい新奇な唄を聞くことを得ざるを悲しま……(三本節)▲東京では華族の子弟が人殺しをしたり藝者狂ひをすると大騷きをするが何が不思議なんだらう華族も人間であると云ふことを忘れちや困る(平民の親玉)

▲貴紙十四日の新聞に明治町の○○の模範店員さんと開進亭小笑さんとの投書に付き係りの手にて○○と記載云々とありましたが明治町にも五六名投票者が有た樣子にて中には迷惑な方もある事と察しますから○○でなく明瞭に願ひ度い(明治町東國大訴人)▲君を迷惑者の一人と見做すから知らせてあげる、○○とは眺鏡なり、此の以上は我輩は知らんよ(係)▲日韓人大懇親會に行きましたが紳士とか淑女とか云ふものも知れたもんだ、食ひ物を見せると先祖の猿に逆戻り、氣の弱い人間は卒倒するよ、然るに一人も卒倒しない日韓人大懇親會々員は、無償にて食物を攫んでと如何に健鬪すべき資質を有せるものなるかを知るに足るであらふ(苦笑子)▲水標橋通り開明樓のちか子さん靜香さんのれ兩人は揃ひも揃つたれ多福で別嬪さんで愛嬌がよくつてホンに惚れ〴〵すると彼の人が云つて居ましたよ(岡惚生)▲大和町一丁目に引越してから早や十五日に成るが塵芥を一度も取りに來ない臭氣紛々實に閉口だ衞生上非常に有害である來んとか其の筋の取締を願いたい(住民)▲西小門通り度支部裏門前醫師は手術巧妙迅速且つ懇切藥料の安價なる事京城

▲第一我々貧寒生は大に感謝の至りだ(全快患者)▲吹く松風もなんどなく、我をそしると聞きなきれ靜かに澄める月影も我を咒ふにきも似たう口を開けば愚痴となり文を綴れば心の糸こきも似たる亂れ〳〵てはてしなくいつれは前と白真弓「願はくは盲目どなりて僞りの世と隔りて一人語らん」此のまゝに啞者となららんの我願い云ふ可き……は皆涙なり(秋月生)▲左樣に悲觀するもので以ありませんよ確かりなさい病は氣から盲者になりたいの啞者になりたいのとそんな馬鹿なことを仰言しやんなよ(小僧)▲東拓……

●天氣豫報(自十七日午後六時至十八日午後六時)

南の風晴

十六日　最高温度(華氏)七一、六　最低温度五〇、〇